

コミュニケーション・スキル訓練

氏名: 牧野 幸志(まきの こうし) 学部: 経営学部 学科: 経営情報学科 職階: 准教授 連絡先: ※下段、お問い合わせ先をご参照ください。	写真
--	----

研究の概要

現在は、青年期のコミュニケーション・スキル訓練の開発とその実施の研究を行っている。コミュニケーション・スキル、良好な人間関係を築き、維持するために必要なスキルであり、社会人となっても必要である最低限のスキルである。しかしながら、現代社会においては、他者とのコミュニケーションを苦手とする若者も多い、そこで、スキル訓練プログラムを実施し、向上を補助している。

最近では、人狼やキャット&チョコレートなどの心理ゲームを用いて、コミュニケーション・スキルの向上を測るゲームによるスキル向上プログラムの研究を行っている。このプログラムは学校不適応の子どもへの対策だけではなく、大学生への説得力アップやプレゼン能力の向上にも役立つと考えられる。

現在の課題は、このスキル・プログラムの普及がまだ進んでいないことである。今後は地域の小中学校などで実践を行っていきたい。

今後の方向性は、より多くの学校や会社で本プログラムが実施されるように活動を進めていき、汎用性のある訓練プログラムを開発することである。

特長・効果	コミュニケーション・スキルを習得、あるいは向上させることで、将来起こりうる対人葛藤問題などを予防するところに新規性がある。また、これまでのスキル訓練は一部の人を対象に実験室内で行われてきたが、私の研究では現場において集団で行われているところに特徴がある。 特に最近では心理ゲームを用いて、楽しく学べるコミュニケーション・スキル訓練の開発を行っている。
利用・用途	スキル訓練プログラムにより、学校内、会社内の対人関係が良好となり、組織運営がスムーズになるであろう。また、組織内の不和、葛藤などの問題が発生しにくくなるであろう。

【関連資料・特許・文献・参考事項】